学校番号	1015

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「日本史 A」最新版　（清水書院）						
副教材等	最新日本史図表　新版二訂（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史 A では、日本史の中の特に近現代の歴史（江戸時代末期～現代）に範囲を絞って勉強していきます。現在の社会とつながる部分が多くあるので、興味深いと思います。また、近現代の歴史を知っていることで、今の社会が分かることも多くあります。提出物の期限は守り、定期考査などには計画的に学習をして取り組んでください。

２　学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト（論述問題など） ・レポート課題 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト（資料の読み取り） ・レポート課題 ・史資料の読み取り	・学習状況の観察 ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="7">前期中間</td><td rowspan="3">私たちの時代と歴史</td><td>1. 近代・現代という時代とその課題</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a: 近現代に至る我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、主体的・意欲的に学習活動をしている。
b: 近現代に至る我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、歴史的事象を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に表現している。
c: 近現代に至る我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、歴史的事象に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。
d: 近現代に至る我が国の歴史に関心を持ち、歴史を学ぶ意義に気づき、歴史的事象に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力と広く全体を捉えることのできる能力を身につけている。</td><td rowspan="7">・学習状況の観察
・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等
・定期テスト</td></tr>
<tr><td>2. 日本の近代化とアイヌの人権</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>3. 近代・現代とはどういう時代であったのか</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">国際関係の変更と幕藩体制の動揺</td><td>1. 18・19世紀の世界と東アジア</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a: 欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係に関心を持ち、主体的・意欲的に学習している。
b: 欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係に着目し、多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に表現している。
c: 欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係に関す</td></tr>
<tr><td>2. 外国船の来航と海防策</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>3. 新しい学問と思想</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>4. 社会の変化と農民の動向</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

		5. 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革		○		○	る諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。 d: 欧米諸国のアジア進出という国際関係の変化と幕藩体制の動揺との因果関係を公正に読み取る能力を身につけている。	
	明治維新と近代国家の形成	1. ペリー来航と日米和親条約	○		○	○	a:開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題に関心を持ち、また明治新政府の諸改革やそれが社会にもたらした変化について意欲的に主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。また、明治新政府が行った諸政策の意味を歴史的に考察し、考察したことを適切に表現している。 c:開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。様々な写真資料や絵画資料から、日本の近代化の状況を示す情報を読み取り、近代化の進展について考察する材料として活用している。 d:開国以後、明治維新をへて近代国家が急速に形成された過程の諸問題について、広く全体を捉える能力を身につけている。	
		2. 通商条約の締結と安政の大獄		○		○		
		3. 貿易の影響と尊王攘夷		○		○		
		4. 討幕運動の展開	○		○	○		
		5. 新しい政治体制をめざして	○			○		
		6. 近代国家の成立と国民の創出		○		○		
		7. 近代化政策の展開		○	○	○		
		8. 文明開化と民衆	○		○	○		
		9. 新政府の国際承認		○		○		
		10. 国境の画定			○	○		

		11. 大久保政権		○		○		
前期期末	立憲政体の成立と国際的地位の向上	1. 自由民権運動と政党の結成		○		○	a: 近代日本の立憲体制への関心を高め，大日本帝国憲法の制定過程や特徴，同時期の外交政策やアイヌへの対応について意欲的に学び、日本の近代の立憲体制の特徴を追究しようとしている。立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に表現している。 c:立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。データから必要な情報を読み取り、産業の発達や経済の状態と自由民権運動などの政治情勢との関係等を考える材料として活用している。 d:立憲政体の成立、日清・日露戦争をへて国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身につけている。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 松方財政と民権運動の激化		○		○		
		3. 立憲体制の確立	○	○		○		
		4. 初期議会と条約改正		○		○		
		5. 日清戦争	○		○	○		
		6. 日清戦争後の政治と日英同盟			○	○		
		7. 日露戦争	○		○	○		
		8. 満州経営と韓国併合		○		○		
		9. 近代産業の発展			○	○		
		10. 社会問題の発生と政府の対応				○		
		11. 明治の思想・学問・文化	○			○		

	第一次世界大戦と日本	1. 護憲運動と大正デモクラシー		○		○	a: 第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。第一次世界大戦前後の世界の動向や日本の社会・経済について考え、大日本帝国の実態を追究しようとしている。 b: 第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c:第一次世界大戦前後の時期の複数の歴史地図を分析し，国際情勢の変化を示す情報を読み取っている。また様々な写真資料から、第一次世界大戦やその時期の日本や中国、朝鮮の状況を示す情報を読み取り、日本の国際的地位の変化を考察する際の材料として活用している。 d:第一次世界大戦前後の国際関係の変化と我が国の政治・外交・経済・文化の動向との因果関係について、広く全体を捉えることのできる能力を身につけている。第一次世界大戦の時期に、日本が中国への侵略を進めた経緯を学び、そのことが日本と中国や欧米列強との関係に与えた影響を理解し、その知識を身につけている	
		2. 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化	○		○	○		
		3. ロシア革命とシベリア出兵				○		
		4. ヴェルサイユ講和とワシントン体制		○		○		
		5. 政党政治の展開		○		○		
		6. 大戦景気と産業構造の変化			○	○		
		7. 社会運動の高まり	○			○		
後期中間		8. 国民生活の諸相				○		・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		9. 大衆文化の成立	○			○		
		近代の追求 1. 日本人の住環境 （主題学習）	○	○	○	○		
		近代の追求 2. 大日本帝国をめぐる人口移動 （主題学習）	○	○	○	○		
	第二次世界	1. 協調外交と金融恐慌			○	○	a:第二次世界大戦からアジア太平洋戦争に至る過程の歴史的事象とそこから生まれた諸	

		2. 世界恐慌と昭和恐慌		○	○	○	課題に関心を持ち、第二次世界大戦が未曾有の被害をもたらした要因を追究しようとし、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:長く続く不況が日本の経済や政治・社会に与えた影響を、軍国主義台頭の要因を追究する視点から歴史的に考察し、その結果を適切に表現している。第二次世界大戦からアジア太平洋戦争に至る過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に表現している。 c:第二次世界大戦からアジア太平洋戦争に至る過程の歴史的事象とそこから生まれた諸課題に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。また 20 世紀前半の写真資料を分析し、当時の日本の状況や戦争に関する情報を読み取り、国民が戦争を支持した理由を示す根拠として活用している。 d:第二次世界大戦勃発後、日米開戦までの経緯やアジア太平洋戦争の展開を理解し、その知識を身につけている。また、そこから生まれた諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身につけている。	
		3. 満州事変と国連脱退		○		○		
		4. 二・二六事件と日中戦争		○		○		
		5. 第二次世界大戦の勃発と日本	○	○	○	○		
		6. アジア太平洋戦争（太平洋戦争）の勃発	○	○	○	○		
		7. 日本占領下のアジア		○		○		
		8. 戦時下の国民生活	○			○		
		9. 日本の敗戦		○	○	○		
	戦後政治の動	1. 占領と改革	○			○	a:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移に関心を持ち、主体的・意欲的に	

		2. 占領下の政治と労働運動				○	学習活動をしている。また、日本の戦後改革についても国際情勢と関連づけて追究しようとしている。 b:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。また、様々な写真資料から、第二次世界大戦後の国際情勢や国内の状況を示す情報を読み取っている。 d:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について、広く全体を捉えることのできる能力を身につけている。	
		3. 日本国憲法の制定		○	○	○		
		4. 冷戦と占領政策の転換		○		○		
		5. 戦後の国際情勢と日本の独立		○		○		
		6. 戦後の国民生活と変化	○			○		
後期期末	経済の発展と国民生活の変化	1.「55 年体制」と安保闘争 −1950 年代の日本と世界−	○	○		○	a:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b: 高度経済成長やそれにともなう社会問題の発生が新しい価値観を生んだことと，革新勢力への支持の高まりとの関連を歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 高度経済成長期の日本 −1960 年代の日本と世界−		○		○		
		3. 安定成長から経済大国へ −1970 年代の日本と世界−		○		○		

		4. 経済大国へのみち −1980 年代の日本と世界−			○	○	を適切に表現している。 d:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展・国民生活の変化や経済成長を優先した結果公害などの社会問題が生じたため、環境や福祉等に対する人々の関心が高まったことなどを理解し、その知識を身につけている。	
	現代の日本と世界	1. 世界史の転換 −冷戦の終結と「昭和」の終わり−	○			○	a:世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割に関心を持ち、日本や世界が直面している課題の歴史的背景に関する考察を深めようとしている。 b: 冷戦終結後の国際情勢の変容について歴史的に考察し、多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に表現している。 c: 冷戦終結後の世界や日本に関する写真資料から、世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割を読み取り、私たちが直面する課題を示す根拠として活用している。 d:世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割について、広く全体を捉えることのできる能力を身につけている。	
		2.「55 年体制」の崩壊 −1990 年代の日本と世界−		○		○		
		3. 21 世紀を迎えて −2000 年代前半の日本と世界−	○			○		
		4. 今日の世界と日本の課題	○			○		
		近代の追求 3. 地域社会の変化 −市町村合併の歴史− （主題学習）	○	○	○	○		

		現代からの探求 沖縄の基地問題 （主題学習）	○	○	○	○	a:現代社会の諸課題が歴史的に形成されたものであることを気づき、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:現代社会の諸課題を歴史的視点から多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c:現代社会の諸課題に関する諸資料を見学・収集し、選択・考察してその結果を適切に表現している。 d:現代社会の諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力と広く全体を捉えることのできる能力を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。